

- 系 統 繊維混入ポリマーセメントモルタル（プレミックスタイプ）
- 特 長
- 1) 水と混練りするだけで、使い易く、安定した性能を発揮する。
  - 2) 耐摩耗性、平滑保持性（粗度係数の保持）、ひび割れ抵抗性に優れる。
  - 3) 接着性に優れ、躯体との一体化が図れる
  - 4) 2～15mm/層のコテ塗り作業が可能で、作業性に優れる。
  - 5) ドライアウトを起こし難く、性能を発揮する。
  - 6) 施工1日経過後に、降雨などの水に晒されても、浮きや付着低下がない。

用 途 AGモルタルライニング工法（農業用水路再生モルタルライニング工法）

配 合 比

	配 合 量		練上り量
	AGモルタル	水	
1袋配合	1袋 (25kg)	4.13ℓ	約13.9ℓ
1m <sup>3</sup> 配合	1800kg (72袋)	300ℓ	約1000ℓ

AGモルタルの標準的な配合例です。外気温、材料温度、混練水温などにより可使時間、施工性が変化するため、予め試験練りを行い、1袋(25kg)に対して3.9～4.4ℓの範囲で、混練水量を決定する。

荷 姿 25kg/袋

外 観 性 状 灰色粉末

可 使 時 間

タ イ プ	通 年 用		
温 度 [ °C ]	5～15	16～25	26～35
可 使 時 間 [ 分 ]	60	60	30～60

単位容積質量 2.10±0.15kg/ℓ

貯蔵保証期間 3ヶ月（湿気、水分を避け、屋内で貯蔵する）

消防法による  
区 分

—

使 用 方 法

- 1) モルタルミキサーの性能に応じて、整数袋のAGモルタルを入れる。
- 2) AGモルタルを攪拌しながら所定量の混練水を徐々に投入し、練りダマができないように5分以上混練りする。
- 3) 左官コテ、または、吹きつけにより塗布する。
- 4) 養生剤としてプロキユアを散布し、コテ仕上げを行う。

使用上の注意

- 1) 必ず試験練りを行い、混練り水量を決定する。
- 2) 練り上がり温度が10～25℃となるよう、混練水温により調節する。
- 3) AGモルタルに練混ぜ水以外は、一切混入しない。
- 4) プライマーはAGプライマー（湿潤面用エポキシ樹脂系プライマー）を使用する。

### ⚠ 注 意

1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。
2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4. 詳細については製品安全データシート（MSDS）を参照してください。